

閩保健推進課 ☎61-3315

インフルエンザ予防接種

INFO

医療機関	電話番号	生後6カ月～未就学児	小学生～高3相当の人	65歳以上のほか
県立久慈病院※11月～実施。通院中の人に限る	53-6131	○	○	○
おのでら耳鼻咽喉科クリニック	61-3387	1歳以上可	○	○
久慈市国民健康保険山形診療所	72-2033	○	○	○
関上こどもクリニック	75-3722	○	○	○
ちだ医院	61-3366	○	○	○
おおさわ内科・胃腸科医院	61-3033	-	○	○
金子クリニック	61-1005	-	○	○
北リアス病院※通院中の人に限る	53-2323	-	○	○
久慈恵愛病院	52-2311	-	○	○
齊藤内科	53-3511	-	○	○
しろと内科循環器科クリニック	61-3330	-	○	○
竹下医院	53-0022	-	○	○
鳥谷医院	53-2808	-	○	○
藤田皮膚科医院	52-8700	-	○	○
前田整形外科内科医院	52-4051	-	○	○
大関内科医院	65-2311	-	○	○
洋野町国民健康保険大野診療所	77-2100	-	○	○
洋野町国民健康保険種市病院	65-2127	-	○	○
おしかわ内科クリニック	71-1600	-	○	○
普代村国民健康保険診療所	35-2517	-	○	○

インフルエンザの予防接種の助成をします。対象者には、9月下旬に個別に通知します。65歳以上の対象者へ送付したチラシでは「6 新型コロナウイルスワクチンとの接種間隔では、2週間以上の間隔をあけて接種してください」とお知らせしましたが、新型コロナウイルスワクチンとは、同時に接種できます。訂正してお知らせします。

▼助成期間：10月1日～令和5年3月31日まで
▼対象：①平成16年4月2日生まれ～令和4年9月30日生まれの人、②65歳以上の生まれの人、③60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓・呼吸器の機能の障がいのある人、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害のある人（身体障害者手帳1級相当程度）

くじ子育て世帯臨時特別支援金

INFO

閩子育て世代包括支援センター ☎52-2169

原油価格や物価高騰の影響などの経済対策として、18歳までの子どもがいる子育て世帯に、臨時特別支援金を支給します。

▼支給額：子ども1人当たり2万円

▼支給対象者：平成16年4月2日～令和4年4月30日生まれの子どもを養育する世帯※主な生計維持者の所得が、児童手当受給要件となる所得制限限度額を超える世帯を除く。

申請が不要な人
市から5月分の児童手当の支給認定を受けている世帯は申請不要です。対象者には10月上旬にお知らせをします。

▼支給方法：給付金は10月下旬に、児童手当の指定口座

に振り込みます。指定口座を解約した場合は、10月14日(金)までに届け出をしてください。

▼受給を辞退する場合：受給拒否の届出書を10月14日(金)までに提出してください。

申請が必要な人
児童手当を受給していない左の世帯が対象です。申請書はHPから入手できます。令和5年1月31日(月)までに申請書を出してください。

▼対象者：①4月30日時点で、16歳～18歳（平成16年4月2日～平成19年4月1日生まれ）の子どもを養育している世帯、②所属庁から5月分の児童手当を受給している公務員。

中学生が思いを力強く訴える

NEWS

令和4年度わたしの主張久慈地区大会

9月5日、アンバーホールで令和4年度わたしの主張久慈地区大会が開催されました。大会には管内4市町村の中学校から13人が参加。生徒らはSNSでのトラブルや、社会への意見などを学校生活での体験を交えながら、自分の言葉で力強く訴えました。

地区大会の入賞者は次の通りです。（敬称略）

【最優秀賞】
泉川夢羽（野田中学校3年）
【優秀賞】



堂々と発表する坂本優真さん

坂本優真（宇部中学校3年）
金子葵（普代中学校3年）
【優良賞】
橋本知歩（久慈中学校3年）
篠山桐花（待浜中学校3年）
西颯志（山形中学校3年）

二十歳のつどい実行委員を募集

INFO

閩生涯学習課 ☎52-2156

令和5年1月8日(日)に開催する、令和4年度久慈市二十歳のつどい実行委員を、募集しています。詳しくはお問い合わせください。

▼実行委員応募資格：平成14年4月2日から平成15年4月1日までの間に生まれた人で、二十歳のつどい当日に参加できる人

▼活動内容：二十歳のつどいでの二十歳の証受領や受け付け、記念事業の企画運営など、実行委員会（土日や夜間に開催予定）やオンライン



令和3年度成人式実行委員

ラインなどで話し合ってください。
▼応募方法：電話または窓口で申し込みください。

命を守るために早期避難を

NEWS

岩手県地震・津波被害想定調査の公表

9月20日、岩手県が県内の地震・津波被害想定に係る調査報告を公表しました。

3月に公表した本県最大クラスの津波浸水想定を基に、県民の命を何としても守ることを掲げ、津波避難対策に全力を挙げて取り組むために、具体的な被害想定を市町村ごとに示したものです。

今回の調査では、冬の深夜、夏の昼12時頃、冬の夕方18時頃の3ケースで、地震・津波による人的被害や建物被害などを想定。

市で最も被害が大きいと考えられるのは、最大震度6強クラスの日本海溝モデルが冬の夕方方に発生した場合です。死者が4400人と数多くの人命が失われる調査結果となっていますが、早期避難により被害を大きく減らすことができるとされています。

この結果は、防災教育の推進や防災意識の啓発など、今後の各地域の効果的な減災対策を検討するための基礎資料として、役立てられます。

9月20日、遠藤市長は「第一に避難。避難所は公的機関のほか、早期に避難できる民間の施設を利用できるような協力をお願いしていきたい。地域でも自主防災組織を積極的に立ち上げ、いざという時に備えてほしい」と述べました。

市は、現在進めているハザードマップの更新や津波避難計画の策定、自主防災組織のさらなる組織率向上に引き続き取り組み、地震・津波からの「犠牲者ゼロ」を目指します。



左から、加藤署長、小松郵便局長、ニツ神翔子さん

News+

還付金詐欺を未然に防ぐ

市内で「介護保険料の未払いがある」、「税金の払い過ぎによる還付がある」などとATMやコンビニに誘導して支払いをさせる詐欺が発生しています。日本郵政株式会社久慈郵便局が、還付金詐欺を未然に防いだことに対し、久慈警察署は「特殊詐欺未然防止功労」の感謝状を贈呈しました。加藤秀昭久慈警察署長は「窓口での丁寧な対応や、職員同士の見事な連携プレーで、詐欺被害を未然に防いでいただいた。引き続き被害防止に努めてほしい」と思いを述べました。

INFORMATION

第50回産業まつりを開催します

久慈地域の事業者の露店出店販売や、企業PR、公共団体等の啓発活動のほか、おふるまいや体験イベントなど、楽しい出店が盛りだくさん。第50回の記念事業として、歴史やロケ地の連携都市の特別出店や舞の海秀平さんのステージイベント、IBCラジオの公開生放送も予定しています。秋の味覚や楽しい魅力満載のイベントです。9日は9時45分からオープニングセレモニーを行います。ご家族お誘いあわせのうえ、お越しください。

▶日時…①10月9日(日)10時～16時②10月10日(月)10時～15時
▶会場…アンバーホール
閩久慈地方産業まつり実行委員会事務局（市商工観光課内）☎52-2123